

PRESS RELEASE

東京都渋谷区教育委員会の GIGA スクール端末活用事例を公開

～ICT 教育先進自治体のフィルタリング対策を紹介 “誰もがいつでもどこでも学習できる”環境を～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、GIGA スクール構想における 1 人 1 台端末のセキュリティ対策として、Web セキュリティ製品「i-FILTER」Ver.10 を活用した東京都渋谷区教育委員会の導入事例を、1 月 24 日に公開したことを発表します。

端末の適切な活用のためにフィルタリングを導入した教育委員会の事例をご紹介

全国の児童・生徒に 1 人 1 台端末と高速ネットワークを整備する「GIGA スクール構想」は、新型コロナウイルス感染症拡大によるオンライン学習の必要性が高まったことも相まって、多くの自治体で 2020 年度内に端末導入が完了しています。コロナ禍でのオンライン授業や ICT 活用による学習などが進み、様々な利点がある一方、端末を運用する上でのトラブルや端末を使ったネットいじめなどの課題も出てきています。子どもたちは人間関係やコミュニケーションについても発達段階であり、インターネットリテラシーも未熟な部分があります。こうした段階で、制限なくインターネット端末を利用させてよいのか、GIGA スクール端末の活用について課題が浮き彫りになっています。子どもの安全を見守り、安心して端末を活用できる方法はないのでしょうか。

デジタルアーツは、GIGA スクール端末を児童・生徒が安全に使い、教員や保護者の皆さまが安心して端末を持たせることができるよう学校現場にも合わせた Web セキュリティ製品「i-FILTER」を提供しています。今回は、同製品を導入され、先進的な ICT 教育を推進している東京都渋谷区教育委員会(以下、渋谷区)の活用事例を 1 月 24 日より公開します。

全国に先駆けて 1 人 1 台端末を実現、現在は 2 代目端末を活用

渋谷区は 2017 年 9 月、区立小中学校の児童・生徒に LTE 対応タブレット端末を配布し、全国に先駆けて「1 人 1 台端末」を実現した自治体です。2017 年に導入した 1 代目の端末では新型コロナウイルス感染症拡大を受け、Teams を導入し、双方向の授業を可能にしました。休校期間中もオンライン学習という形で端末の活用を図りました。その後、2020 年 9 月に「Surface Go 2」12,500 台を整備し、「i-FILTER」Ver.10 を導入しました。

2 代目端末の整備は、教育委員会だけでなく、技術の専門家が集まる渋谷区の ICT センターなど区役所全体で一緒に進めました。「教育委員会だけでは難しい面もあります。専門的な知見を持つ区役所メンバーと一緒に行いました」と渋谷区教育委員会事務局教育政策課教育 ICT 政策係の山崎卓夫氏は、端末をスムーズに導入できた経緯を語ります。

これまで 3 年間端末を活用してきた経験もあり、2 代目端末では全校で利用できる段階となっていました。また、教員は東京都の職員のため、他区からの異動もあります。その際には教員同士が学校内で活用を教え合うことができるほどに渋谷区の現場レベルは向上しています。

現在子どもたちはタブレットの活用に慣れ、校外学習などでも抵抗なく使っているようです。「学校が本人や保護者と相談のうえ、学校に来られない子どもたちに授業風景を自宅で見学できるようにしているケースもあります。また、1 クラスが 2 教室を使い、片方をオンライン授業とするなど授業が密にならないようにする取り組みも行っていきます」(山崎氏)。



音楽の授業で端末を活用

細かなチューニングと時間割機能で安全な学習環境を確保

山崎氏は「不適切サイトはどうしても存在します。不適切サイトを子どもに自由に見せてしまうのは、子どもの成長に悪影響を与えてしまいます」と警鐘を鳴らします。また、「何よりフィルタリングの有無は保護者も気にしており、子どもたちがしっかり守られているのかと心配する声もあります。不適切なサイトを自由に閲覧するのはそもそも端末の利用目的から外れています。端末を授業でしっかり活用するには、一定の制限は必要です」といいます。

おおむね平日も授業時間外も同じルールを適用していますが、授業時間はソーシャルブックマークのカテゴリはブロックせず、授業時間外はブロックするなど細かいチューニングを行っています。そのほか、動画サイトは見られないようにフィルタリングをかけ、SNS もフィルタリングで禁止しています。「時間割機能」を活用して児童・生徒のインターネット利用時間の制限も行い、インターネットの長時間利用を防いでいます。小学校は平日 8 時—16 時、中学生は 8 時—17 時までの利用とルールを定めています。夏休みに関しては、利用時間を 20 時まで延ばして延長してました。

「i-FILTER」Ver.10 のデータベースは、従来の「ブロック対象となりうる URL をカテゴリ化する方式」から「脅威情報サイト」や「ポルノ・アダルトサイト」、「ニュース」など「あらゆる URL をカテゴリ化する方式」に変わっています。そして、カテゴリに分類されない「未カテゴリ」の URL については、授業時間はブロックせずに、授業時間外はブロックするように設定しています。

誰もが家庭に持ち帰り、いつでもどこでも学習できる

渋谷区では閉域 LTE を整備しており、持ち帰り学習を想定して端末を活用しています。閉域 LTE のため、家庭に Wi-Fi 環境がない児童・生徒でもインターネットにつなげる仕組みとなっています。山崎氏は「誰もが家庭に持ち帰り、いつでもどこでも学習できることを目標にしていました。インターネット環境から取り残されてしまう子どもがいてはならない、と渋谷区は全員がインターネットを使えることを前提としています」と強調します。

その方針のもと、持ち帰り学習は渋谷区の全校で実施しています。学習では、オンライン教材などを活用しています。利用時間帯を設定し、利用時間外は厳しいフィルタリングを適用していますが、学習に必要なサイトは「i-FILTER」のブラック除外リストに登録し、常に利用できるようにしています。このブラック除外リストは区で統一しています。こうした時間帯によってアクセスできるサイトを柔軟に変えることができる「i-FILTER」Ver.10 の機能により、持ち帰り学習を効率的に行うことを可能にしています。

また、教員も端末の持ち帰りを実施しています。校務系も学習系も同じ端末 1 台で行っているため、働き方改革にもつながっています。端末の活用については、危険なサイトへのアクセスなど最低限守らなければならない部分は「i-FILTER」Ver.10 で守りつつ、細かいチューニングを行うことで、端末利用の自由度を上げていく考えです。

■東京都渋谷区教育委員会導入事例の全文はこちら ▶ <https://www.daj.jp/bs/case/case89/>

デジタルアーツの GIGA スクール構想セキュリティソリューション

デジタルアーツは、安心・安全な GIGA スクール構想実現のために、Web セキュリティ製品「i-FILTER」を学校向けセキュリティソリューションとしてオンプレミスとクラウドで提供しております。有害サイトへのアクセスをブロックするほか、マルウェア感染の恐れがある端末のインターネットからの隔離、モバイル端末の利用時間や各種ログの収集、標的型攻撃対策も可能です。国内導入シェア No.1[※]の「i-FILTER」におけるフィルタリングデータベースを基に、学習の現場に合わせたきめ細やかなフィルタリングルール設定が可能です。 <https://www.daj.jp/es/lp/GIGA/>

※株式会社富士キメラ総研「2021 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」Web フィルタリングツール市場占有率(2020 年度)(2021 年 9 月発行)

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。
1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F

URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お問い合わせ先は下記とさせていただきます
デジタルアーツ株式会社 広報担当 山田 (TEL : 090-1555-7254 / E-mail : press@daj.co.jp)

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の登録商標または商標です。